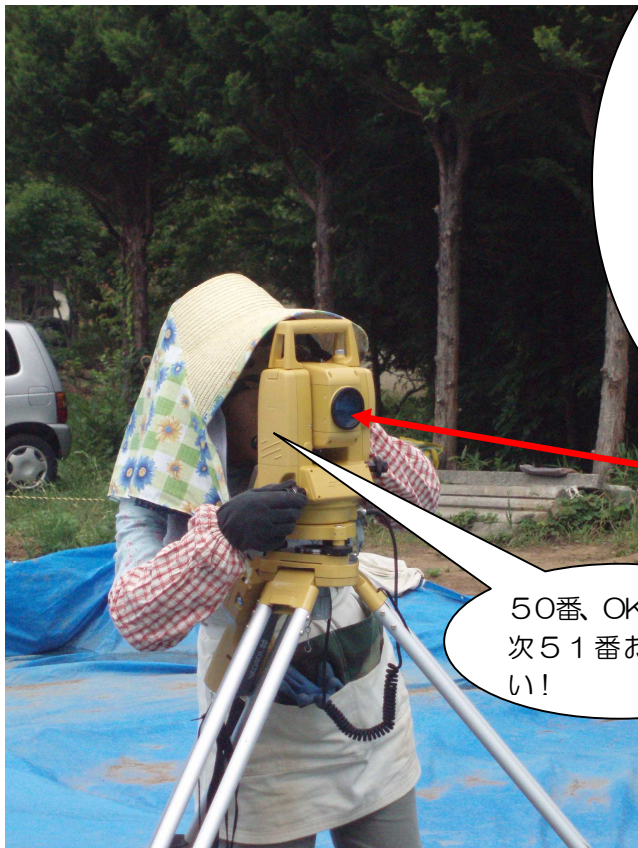


# 女夫石遺跡発掘調査速報

## No.6

武田の里の歴史を解明するのは一つ一つの積み重ねです。発掘調査は掘るだけではありません。地下に眠っていた遺構・遺物たちを記録することが大切なのです。どんな場所にどんなモノがどんな状況で埋まっているのか、この記録が最も基本的なことなのです。今回はその仕事の一端を紹介します。



目には見えないけど、機械から光が飛んで、鏡に跳ね返ると距離などが測定されるんだってさ！  
一昔前は「平板」と「レベル」という道具を使ってやっていたんだって、今はこの黄色い機械のおかげで、効率的になったんだってさ！！



50番、OK！  
次51番おねがい！

沢リ：お互いに番号をいっているよ。土器とかが出てきたところには白い札の入った袋があるね。その場所を黄色い機械で記録しているみたいだね。

マキ：今は機械であつという間に記録できるけど、以前はもっと大変だったらしいよ。ところで、何で土器が出てきたところを記録する必要があるんだろうね。

沢リ：縄文時代がそのままパックされていて、女夫石縄文人が縄文土器をどんな風に使っていたのかを知るためには、どこからどんなものがどの位出てくるのかを記録することは基本なんだそうだよ。

マキ：それにしても、たくさん土器がでてくるね。どんな遺跡でもこんなに出てくるのかな？

沢リ：遺跡の時代や遺跡の残りかたにもよるそうだよ。女夫石遺跡はとても残りが良くて、しかも縄文時代と平安時代の大きく二つの時期の遺跡があるから、土器なんかがとっても多くはっけんされているんだってさ。

マキ：掘っているところをもっと細かく見てみようよ。なんだかたくさん土器が出ているよ。(つづく)



50番、土器で一す。

早く、番号書いて、袋に詰めなくっちゃ！あー忙しい……。